

第3回定例研究会

「舞台美術 発想の瞬目（まばたき）—舞台美術をデザインするとは—」

第3回定例研究会は舞台美術家である土屋茂昭氏をお招きし、「舞台美術 発想の瞬目（まばたき）—舞台美術をデザインするとは—」というテーマで講演いただきました。

講師

土屋茂昭氏（舞台美術家）

指定討論者

谷田有似氏（切り絵作家）

ありま三なこ氏（絵本作家）

コーディネーター

森田雅子（武庫川女子大学 教授・生活美学研究所研究員）

テーマ

「舞台美術 発想の瞬目（まばたき）—舞台美術をデザインするとは—」

講演日

2017年11月25日（土）14:00～17:00 受付開始 13:30

※申し込み不要

場所

武庫川女子大学 学術研究交流館（IR）1階 101

※駐車場がございませんので、公共の交通機関をご利用ください

問い合わせ先

武庫川女子大学生活美学研究所

TEL：0798-67-1291

NEWS LETTER vol.118

生活美学研究所

舞台美術 発想の瞬目

—舞台美術をデザインするとは—

講師 土屋茂昭

11/25(土)

14:00-17:00

受付開始13:30-

第三回定例研究会

通算161回

まばたき

生活美学研究所では、毎年春開演テーマを定め、そのテーマに沿った研究会を開催しております。2019年度のテーマは「瞬目(まばたき)」です。

【講師プロフィール】

金森馨、ジョン・ペリーに師事。1972 年劇団四季舞台美術部。

1983 年「CATS」の美術総合デザインを担う。以後、劇団四季製作のほぼ全作品の舞台美術を手掛ける。

2000 年よりフリー。主な作品に劇団四季「鹿鳴館」、ミュージカル「EVITA」、「李香蘭」、

「ウエストサイド物語」、地球ゴージャス「The Love Bugs」(ACT シアター)、

「ぼくに炎の戦車を」(ACT シアター)、オペラ「エレクトラ」(ザルツブルグ祝祭劇場)、

「トスカ」(藤原歌劇団) 等。

